

特別授業 刑事模擬裁判員裁判

報告書

1. 実施概要

学校名：私立昌平中学校（埼玉県北葛飾郡杉戸町下野 851 番地）

参加生徒：55 名

日時：平成 28 年 6 月 15 日（水）12：30～15：20

〔事前授業 6 月 13 日（月）13：30～15：20 実施〕

形態：裁判員体験型模擬裁判員裁判

单元名：特別授業「刑事模擬裁判員裁判」

授業担当：裁判長：今井秀智（弁護士）

検察官：石田由美子（弁護士）

弁護人：後藤大（弁護士）

被告人：吉橋毅（LP スタッフ）

証人：鈴木茂夫（LP スタッフ）

豊田憲生（弁護士）

刑務官：昌平中学校職員

廷吏：石川（LP スタッフ）

2. 実施内容

配布資料：模擬裁判用シナリオ（A4・14 頁）

シナリオ概要：強盗致傷事件

とあるゲームショップで、閉店後新作ゲームソフトが盗まれる事件が発生した。犯人は通りがかりの目撃者を突き飛ばしケガを負わせて逃走した。警察の捜査線上に浮上した犯人はゲームショップの近所に住む伊藤マコトは、初めのうちは犯行を否認していたが、取り調べが続く中、犯行を認めるに至った。しかし裁判が始まると再び犯行を否認し涙ながらに無実を訴えた。被告人伊藤マコトは、強盗致傷事件の犯人なのか。

評議・判決言い渡しの方法：事前に A～G の 7 グループに分ける（1 グループ 8 名）

評議はグループ毎に、判決言渡しは班長が行う。

判決の結果：全グループが無罪。

判決の理由：

①証人 鈴木シゲオの証言が不自然

→メガネ、マスク、服の色を認識しているにも関わらず、帽子を被っていたか覚えていない。

②証拠不十分

→ガラスケースと空き箱に指紋が付着していたのに、店のドアに指紋が残っていない。

③証人 中村ユウキへの電話

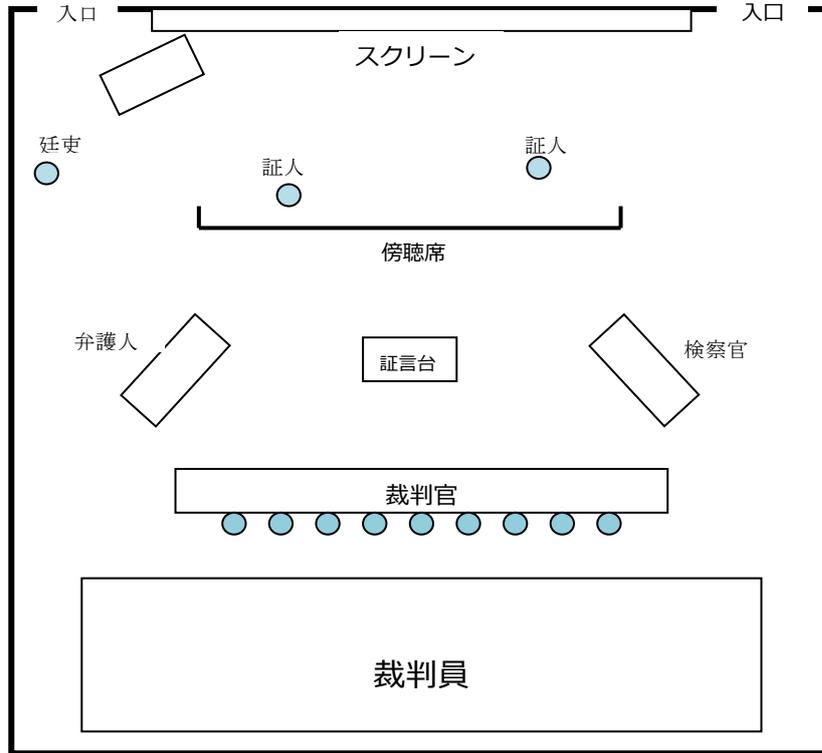
→強盗後、電話をかけていたとすると、マスクをした状態なら息切れ等していると考えられる。

平成 28 年 6 月 15 日 (水)

私立昌平中学校 3 年生

特別授業 刑事模擬裁判員裁判

会場設営 :



3. 実施の様子

冒頭手続



証拠調手続



裁判員



証人尋問



平成 28 年 6 月 15 日 (水)

私立昌平中学校 3 年生

特別授業 刑事模擬裁判員裁判

被告人質問



裁判員からの質問



評議



判決言渡

記念撮影

